

ADVClO

Advanced Digital Video Converter

ユーザーズマニュアル



canopus®

ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノーピス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノーピス株式会社

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2
テクニカルサポート

Tel. 078-992-9940

土日祝日および当社指定休日を除く
10:00～12:00、13:00～17:00

ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどあき付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかるわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付隨的、または派生的損害に対するいかなる請求があつたとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) カノーピス、CANOPUS/ カノーピスおよびそのロゴ、ADVCは、カノーピス株式会社の登録商標です。
- (7) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

安全にお使いいただくために

絵表示について

本製品を正しく安全にお使いいただくために次のような表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



取り扱いを誤ると、けがや周囲の物品を損傷するおそれのある内容を示しています。

は注意を促す事項を示します。

はしてはいけない行為を示しています。

はしなければならない行為を示しています。

ADVC-110

ユーザーズマニュアル

July 18, 2008

Copyright © 2004-2008 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

! 警告

■ 電源コード(DVケーブル)を傷つけない

電源コード(DVケーブル)を傷つけると、火災や感電の原因になります。

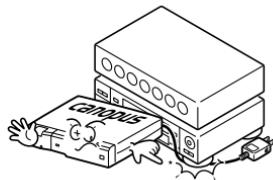
コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。

専用ACアダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。

コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。



禁止



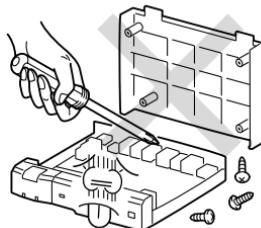
■ キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因になります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。



分解禁止



■ ほこりや湿気の多い場所で使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因になります。



禁止



■ 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因になります。

万一、水や異物が入った場合は、本体の電源コード(DVケーブル)を抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



禁止



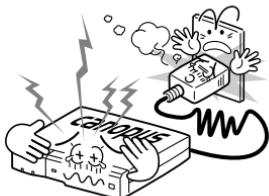
■ 国外では使用しない

本製品は、日本国内での使用を前提として設計されています。

海外では電源電圧が異なりますので、使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

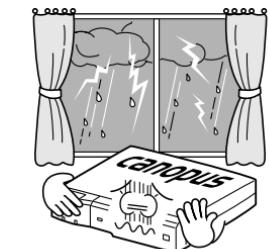


■ 雷が鳴り出したら使わない

本体や、プラグには触れないでください。
感電の原因になります。



禁止



■ ぬれた手で専用 AC アダプタを触らない

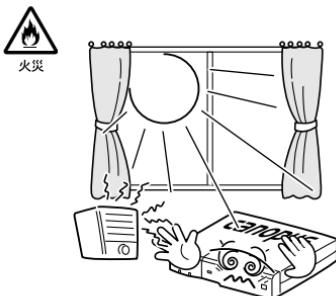
ぬれた手で専用ACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



接触禁止



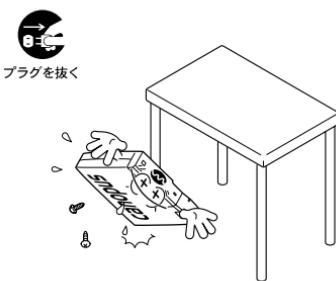
- 直射日光の当たる場所に置かない
日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。
火災や製品の故障の原因になります。



- 煙が出た状態で使用しない
煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。
火災や製品の故障の原因になります。
異常が発生したら、本体の電源コード(DVケーブル)を抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



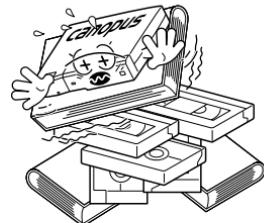
- 製品が破損した状態で使用しない
本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。
火災や製品の故障の原因になります。
製品が破損した場合は、本体の電源コード(DVケーブル)を抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



⚠ 注意

■ 不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。
けがをしたり、製品の故障の原因になります。

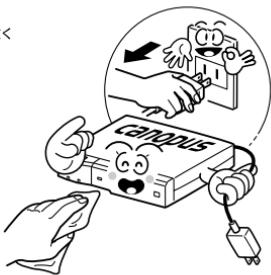


■ お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源コード(DVケーブル)を抜いてください。
感電や製品の故障の原因になります。
お手入れの際は、シンナーなど揮発性の溶剤を使用しないでください。



プラグを抜く



■ 専用 AC アダプタ以外は使わない

専用ACアダプタ以外の製品を使わないでください。
火災や製品の故障の原因になります。



注意



■ コード類は正しく配置する

電源コード(DVケーブル)やAVケーブルは整理して配置してください。

足にひっかけると、けがや製品の故障の原因になります。



注意



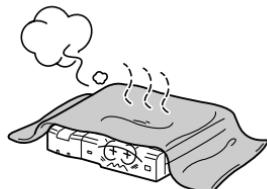
■ 本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。

内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因になります。



火災



■ 長期間使わないときは専用 AC アダプタを外す

使用しないときは、安全のため専用ACアダプタをコンセントから外してください。



注意



目 次

ご購入製品を使用される際の注意事項	2
ADVC-110 の特長	9
付属品の確認	10
各部の名称	11
フロントサイド	11
リアサイド	12
入力モードについて	13
モードの切り替え	14
ANALOG IN モード	15
DIGITAL IN モード	16
カラー／バー出力モード	16
音声キャプチャモード	17
VTR と／パソコンを接続	18
VTR の映像をパソコンに取り込む	19
パソコンの DV 映像を VTR に録画	19
その他の接続方法	20
技術解説	25
ディップスイッチ設定	27
仕様	29
故障かな？と思ったら	30

ADVC-110の特長

アクセスしやすいコネクタ配置

本製品は、アナログ信号入力コネクタを本体の前部に装備しています。
接続変更する機会の多いフロントコネクタへのアクセスを容易にします。

カラーバー信号出力機能

本製品は、アナログビデオ出力から簡易リファレンスカラーバーを出力します。
画像の調整に便利です。

※ DV信号には出力できません。



INPUT SELECTスイッチを約3秒押すとカラーバーになります。
もう一度スイッチを押すと元の入力モード（ANALOG IN/DIGITAL IN）
に戻ります。

映像と音がズれない「Locked Audio」

本製品は、音声を映像の速度に合わせて正確にデジタル化する Locked Audio を採用しました。映像と音声データをシンクロさせることにより、アナログ入力で音声が遅延することはありません。映画などの長時間のコンテンツをコンバートする場合も安心です。



Locked Audio機能はアナログ信号からDV信号に変換する場合のみ有効
です。DV - DV の接続時には機能しません。

専用ACアダプタが付属

お使いのパソコンのDV端子が4pinの場合でも、付属の専用ACアダプタを使ってDVケーブル(4pin-6pin)で接続することができます。

バスパワーによる動作が可能

本製品は、DVケーブル(6pin-6pin)を別途ご用意いただくことでパソコンからの電力供給によりケーブル一本で動作させることができます。

パソコン本体の電源ON/OFFと連動して、ADVC-110の電源のON/OFFが行われます。

ソフトウェアによるデッキコントロール

本製品は、入力モードの変更を本体スイッチ、またはソフトウェア上でコントロールできます。

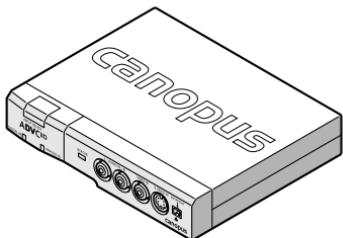


ADVC-110は、NTSC/PALに対応していますが、NTSCからPAL、また
その逆の変換はできません。

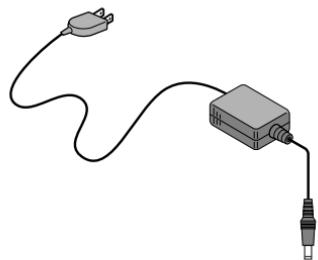
付属品の確認

本製品には、以下の付属品が同梱されています。

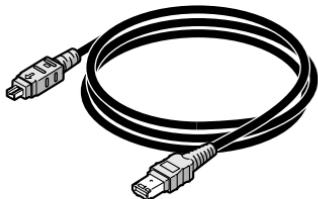
・ADV-C-110



・専用 AC アダプタ



・DV ケーブル (4pin - 6pin)



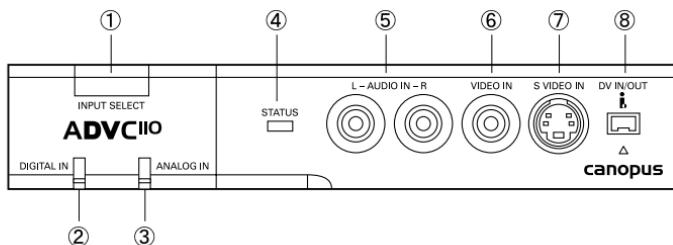
・ADV-C-110 ユーザーズマニュアル (本書)

・ユーザー登録ハガキ 保証書

・シリアルナンバーシール

各部の名称

フロントサイド



① INPUT SELECT スイッチ

DV とアナログの入力モードを切り替えるスイッチです。

② DIGITAL IN LED

DV コネクタから信号を入力して、アナログ信号に変換する場合に点灯します。

③ ANALOG IN LED

アナログコネクタから信号を入力して、DV 信号に変換する場合に点灯します。

④ STATUS LED

ANALOG IN モード 著作権保護信号検出時に点灯します。

DIGITAL IN モード 32kHz ミックスモード時に点灯します。

⑤ AUDIO IN L/R

アナログオーディオ入力端子です。

⑥ VIDEO IN

アナログビデオ入力端子です。

⑦ S-VIDEO IN

Sビデオ入力端子です。

注意！

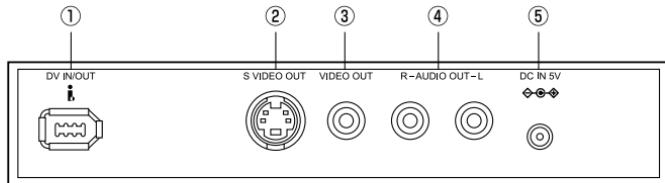


アナログビデオとSビデオを同時に接続すると、Sビデオが優先されます。

⑧ DV IN/OUT

DV 端子 (4pin) です。

リアサイド



① DV IN/OUT

DV 端子 (6pin) です。

② S-VIDEO OUT

S ビデオ出力端子です。

③ VIDEO OUT

アナログビデオ出力端子です。

④ AUDIO OUT L/R

アナログオーディオ出力端子です。

⑤ DC IN 5V

専用ACアダプタを接続します。



当社が提供しております専用 AC アダプタ以外の動作保障はいたしません。

入力モードについて

ADV-C-110には『ANALOG INモード』、『DIGITAL INモード』、『カラー／バー出力モード』、『音声キャプチャモード』があります。

・ ANALOG IN モード

入力されたアナログ信号(ビデオとオーディオ)をDV信号に変換して出力するモードです。

・ DIGITAL IN モード

入力されたDV信号をアナログ信号(ビデオとオーディオ)に変換して出力するモードです。

・ カラーバー出力モード

入力信号に依存せず、簡易リファレンスカラーバーをアナログ信号(アナログビデオ、Sビデオ)出力するモードです。

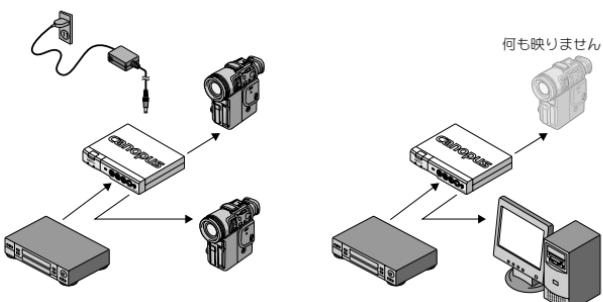
カラーバー出力モードではDV信号は出力されません。

・ 音声キャプチャモード

アナログオーディオ信号のみが入力されている場合に、音声のみをDV信号に変換し出力するモードです。



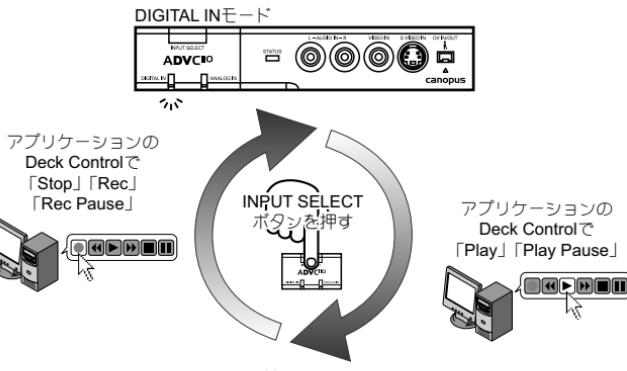
ブロードキャスト接続（1対多接続）も可能ですが、パソコンと接続した場合に、もう一方のポートからは出力が行われない場合があります。



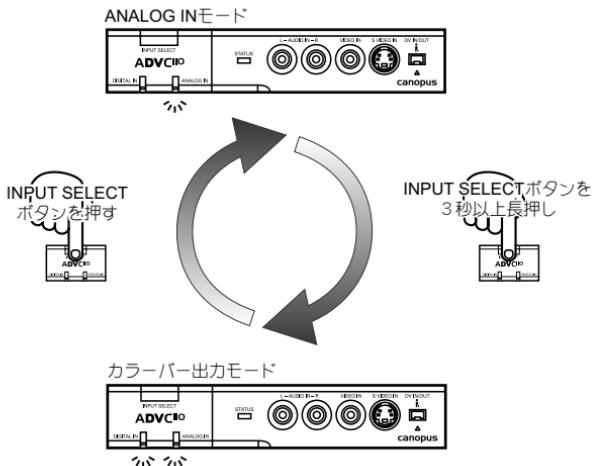
・モードの切り替え

各モードは、次のようにして切り替えます。

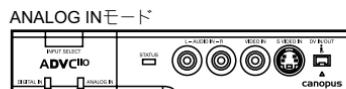
ANALOG INモード / DIGITAL INモード



カラーバー出力モード



音声キャプチャモード



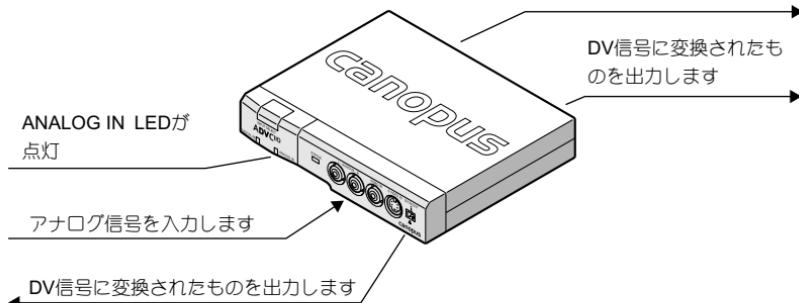
DIP-SW1を切り替え
←→



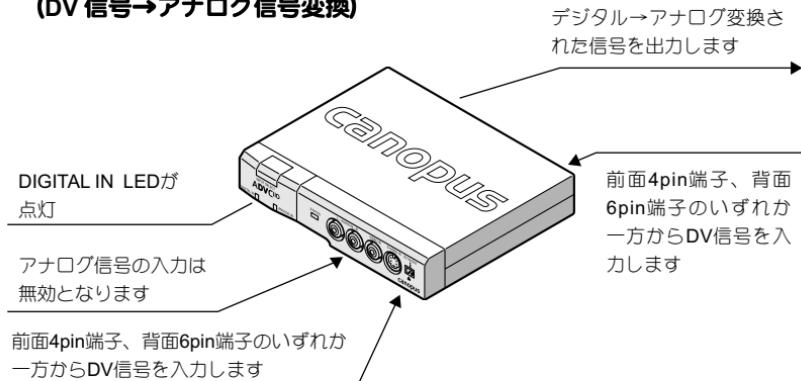
ANALOG IN モード

(アナログ信号→DV 信号変換)

入力されたアナログ信号が、一旦アナログ→デジタル変換され
た後、再びデジタル→アナログ
変換されて出力します



DIGITAL IN モード (DV 信号→アナログ信号変換)

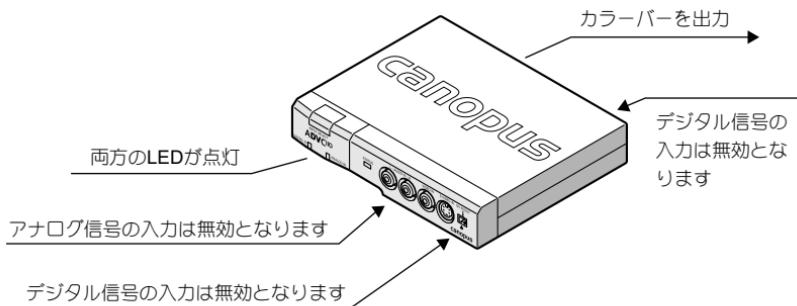


ポイント
ADV-C-110と他のDV機器を同時にパソコンと接続して使用する場合、お使いのアプリケーションで任意のDV機器を選択して使用可能かは、お使いのアプリケーションにより異なります。

カラー／バー出力モード

ADV-C-110本体前面のINPUT SELECTボタンを3秒以上押し続けると、カラー／バーを出力します。

アナログ信号、DV信号の入力は無効となります。音声はミュート状態となります。



カラー／バー出力モードではDV信号は出力されません。

・音声キャプチャモード

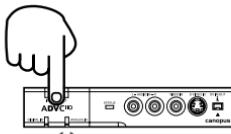
本製品では、『ANALOG IN』モードで動作中にアナログビデオ信号の入力がない場合には、DV信号は出力されません。

音声のみをキャプチャするには、以下の手順で「音声キャプチャモード」に切り替えてください。

1 フロントサイドのINPUT SELECTスイッチを押し、

入力モードを『ANALOG IN』に切り替えます。

ANALOG IN LEDが点灯します。



2 底面のDIP-SW1を現在の設定と反対方向に切り替えます。

〔例〕 SW1を”OFF”でご使用の場合は、”ON”にする。

ANALOG IN LEDが消え、STATUS LEDが点灯します。

ポイント



もう一度DIP-SW1を元の方向に切り替えれば通常モードに戻ります。

3 キャプチャしたい音声を再生します。

4 パソコンでキャプチャします。



「音声キャプチャモード」への切り替えは、アプリケーション側から見たADVC-110のデッキステータスが「Play」状態のときに行って下さい。それ以外の状態で切り替えた場合は、その後の正常動作は保証されません。万一切り替えた場合は、一旦通常モードに戻してからADVC-110のデッキステータスを「Play」にし、もういちど音声キャプチャモードへ切り替えて下さい。

なお、ADVC-110のデッキステータスを「Play」にする方法は、アプリケーション上でデッキ再生の操作を行うか、ADVC-110本体のINPUT SELECTボタンを押して、一度『DIGITAL IN』入力にした後、再度『ANALOG IN』モードにして下さい。

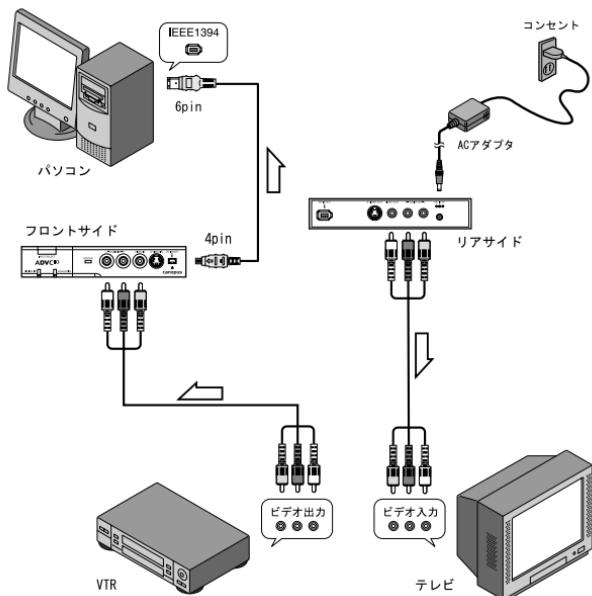


音声キャプチャモード中にアナログビデオ信号を入力した場合、正常に動作しません。

VTR とパソコンを接続

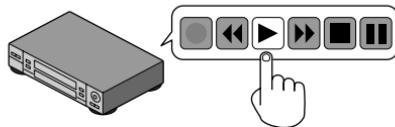
図のよう VTR と ADV-110、パソコンを接続します。

※ここでは、アナログ信号の入出力機器として、VTR を使用して説明しています。



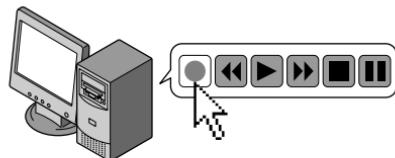
VTR の映像をパソコンに取り込む

- 1 VTR で取り込みたい映像を再生します。



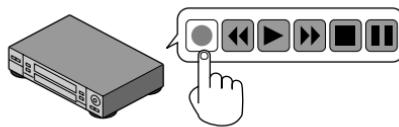
- 2 パソコンで映像をキャプチャします。

/パソコンで映像をキャプチャする方法については、パソコンでお使いになるソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。



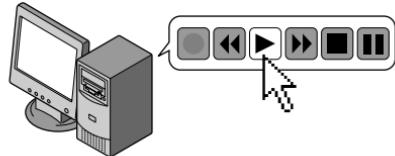
パソコンの DV 映像を VTR に録画

- 1 VTR でテープに録画を開始します。



- 2 パソコンから DV 映像を出力します。

/パソコンからDV 映像を出力する方法については、パソコンでお使いになるソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。



その他の接続方法

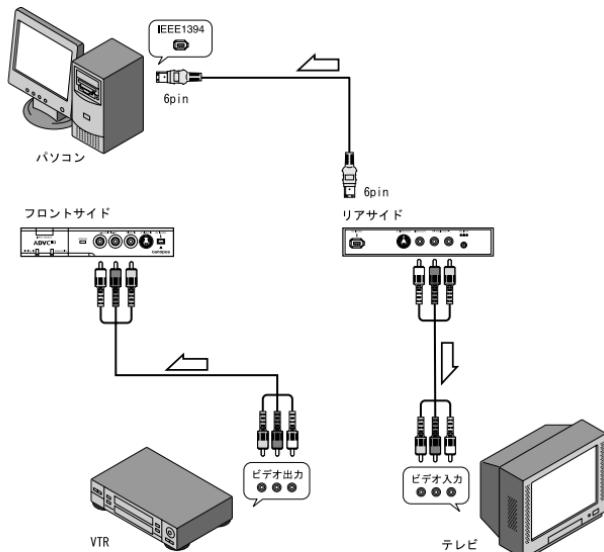
これからご紹介する接続方法でご使用の場合は、別途市販のDVケーブル(6pin-6pin)が必要となります。

DVケーブル(付属の4pin-6pinもしくは市販の4pin-4pin)をお使いの場合は専用ACアダプタを使用して接続を行ってください。

- 市販のDVケーブル(6pin-6pin)を使用してパソコンに接続し、VTRの映像をパソコンに取り込む

図のようになります。パソコンとADV-110、VTRを接続します。

フロントサイドのINPUT SELECTスイッチを押し、入力モードを『ANALOG IN』に切り替えて再生、キャプチャを行ってください。



アナログビデオの映像をパソコンに取り込むときは、ビデオケーブルをADV-110のVIDEO IN端子に接続してください。

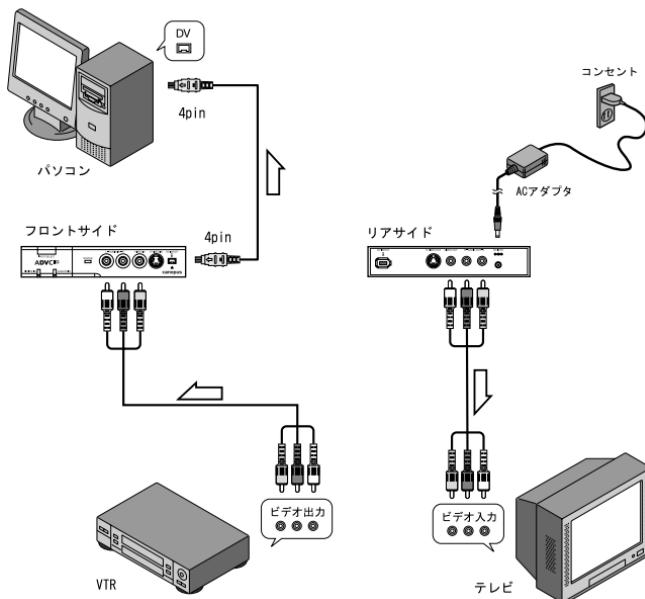


DVケーブル(6pin-6pin)を使用してパソコンに接続していないなど、ADV-110に電力を供給できない場合には、専用ACアダプタを使用して電力を供給してください。

- ・DV ケーブル(4pin - 4pin/ 市販品)でパソコンに接続し、VTR の映像をパソコンに取り込む

図のようにパソコンとADVC-110、VTR を接続します。

フロントサイドのINPUT SELECTスイッチを押し、入力モードを『ANALOG IN』に切り替えて再生、キャプチャを行ってください。



ヒント

アナログビデオ信号をパソコンに取り込むときは、ビデオケーブルをADVC-110 の VIDEO IN 端子に接続してください。

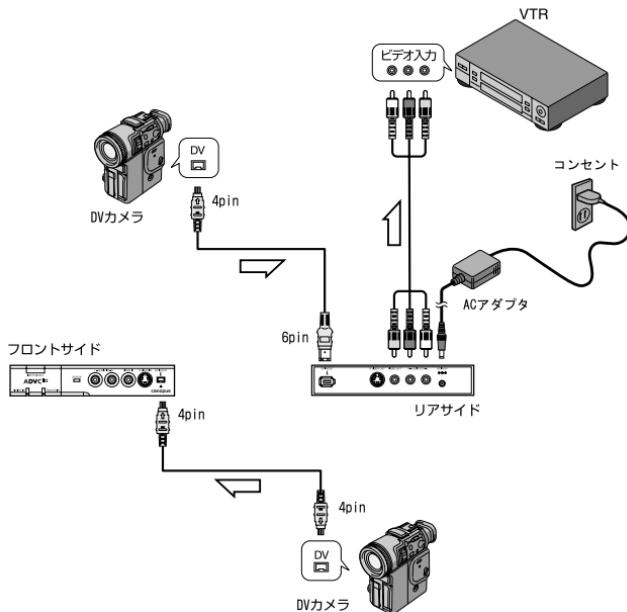
重 要

DV ケーブル(6pin-6pin)を使用してパソコンに接続していないなど、ADVC-110 に電力を供給できない場合には、専用 AC アダプタを使用して電力を供給してください。

- ・アナログビデオに接続し、DVカメラの映像をVTRにダビング

図のようにVTRとADVC-110、DVカメラを接続します。

ADVC-110のフロントサイドのINPUT SELECTスイッチを押し、入力モードを『DIGITAL IN』に切り替えて、DVカメラの映像を再生してVTRにダビングを開始してください。



ADVC-110底面のDIP-SW3で、オーディオモードを48kHz16bitモード
(高音質)と32kHz12bitモードに切り替えることができます。
(P. 27 ディップスイッチ設定参照)

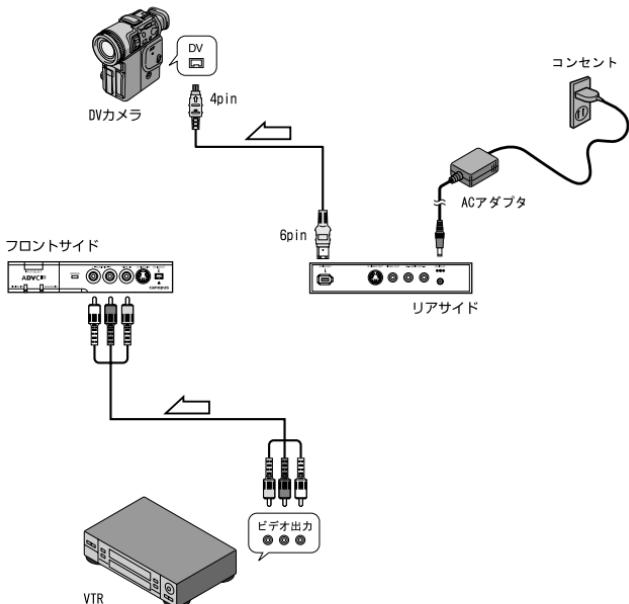


DV信号をアナログビデオにダビングするときは、ビデオケーブルを
ADVC-110のVIDEO OUT端子に接続してください。

・ DV カメラに接続し、VTR の映像を DV カメラにダビング

図のよう DV カメラと ADVC-110、VTR を接続します。

ADVC-110 のフロントサイドの INPUT SELECT スイッチを押し入力モードを『ANALOG IN』に切り替えて、VTR の映像を再生して DV カメラにダビングを開始してください。



※ DV カメラはフロントサイド、もしくはリアサイドと接続します。



DV ケーブル(4pin-6pin)を使用して接続を行う場合には、DV カメラ側に 4pin コネクタ、ADVC-110側に 6pin コネクタをそれぞれ接続してください。

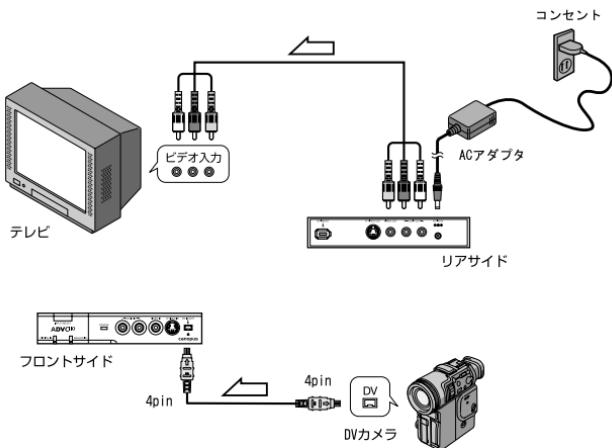


アナログビデオ信号を DV にダビングするときは、ビデオケーブルを ADVC-110 の VIDEO IN 端子に接続してください。

・テレビに接続し、DV カメラの映像をテレビで見る

図のようにテレビとADVC-110、DV カメラを接続します。

ADVC-110 のフロントサイドの INPUT SELECT スイッチを押し入力モードを『DIGITAL IN』に切り替えて、DV カメラを再生してください。



技術解説

■ オーディオモードについて

48kHz16ビットモード

オーディオデータを16ビットのステレオ音声(サンプリング周波数48kHz)で記録します。

DATと同等の音質で記録することができます。

32kHz12ビットモード

32kHz12ビット4chの音声信号を持った記録モードです。

ADVC-110の録音時には、メインの2chのみ記録し、サブの2chは無音となります。

- 32kHz 12ビット メイン 50% + サブ 50%の 4ch ミックスモードの設定方法



32kHz12ビット4chミックスモードに設定するには、ADVC-110底面のDIP-SW3をONに設定し、INPUT SELECTスイッチを押しながら、ADVC-110の電源をONにします。デジタル入力時のみ、STATUS LEDが点灯します。

■ バスパワーについて

別途市販のDVケーブル(6pin-6pin)をご用意されてパソコンのIEEE1394端子に接続して本製品を使用する場合には、バスパワーで電力が供給されるため専用ACアダプタを接続する必要はありません。

パソコン本体の電源ON/OFFと連動してADVC-110の電源のON/OFFが行われます。

パソコンやその他の機器にアナログケーブルや4pinケーブルのみを使って接続して使用する場合や、バスパワーの電力が不足している場合には、専用ACアダプタを使用してください。

■著作権保護機能について

本製品は、著作権保護信号に対応しています。著作権保護信号のかかったデータが入力されると、輝度、コントラストの極端に下がったデータが outputされ、STAT US LED が点灯します。

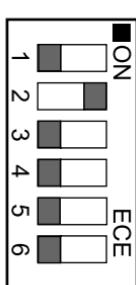
■当社製品との併用について

※専用ACアダプタ必須

ADVC-110と当社DV製品を併用いただぐ場合の設定方法です。

1. 当社DV製品にADVC-110のみを接続する場合
→そのままお使いください。
2. 当社DV製品にADVC-110を接続し、ADVC-110のもう一方のコネクタにDVカメラを接続する場合
→ADVC-110を『DIGITAL IN』に切り替えてお使いください。

ディップスイッチ設定



No.	MODE	OFF	ON
1	Digital-in Reference Sync	Stream Sync	Fixed
2	Power-On Input Mode	Analog	Digital
3	Audio Mode	48kHz_16bit	32kHz_12bit
4	Locked Audio Mode	Locked	Unlocked
5	NTSC Setup Level (SW6=OFF)	0 IRE	7.5 IRE
	PAL / SECAM (SW6=ON)	PAL	SECAM
6	Video Format	NTSC	PAL

DIP-SW1 Digital-in Reference Sync 設定

Video Sync を DV Stream Sync に同期させるかどうかを選択します。出力される映像が白黒になってしまう場合には、ON(Fixed)に設定してご使用ください。

OFF:Stream Sync ON:Fixed

DIP-SW2 Power-On Input Mode 設定

電源投入時の入力モードを選択します。

OFF:ANALOG ON:DIGITAL

DIP-SW3 Audio Mode 設定

オーディオのサンプリング周波数を48kHz(高音質)、32kHz(標準)より選択します。

4ch ミックスモードで使用する場合には、ONに設定してください。

OFF:48kHz_16bit ON:32kHz_12bit

ポイント



出荷時のディップスイッチは、DIP-SW2のみONとなっています。

注意！



ディップスイッチの設定変更は、電源OFFの状態で行ってください。

DIP-SW4 Locked Audio Mode 設定

Locked Audioモードの有無を選択します(アナログオーディオ入力時のみ有効)。

OFF:Locked ON:Unlocked

DIP-SW5 NTSC SetupLevel 設定

黒(セットアップ)レベルを指定します。

OFF:0 IRE(日本) ON:7.5 IRE(北米)

DIP-SW5 PAL/SECAM 設定

DIP-SW6をONに設定した場合、PAL、SECAMのビデオ信号を指定します。

OFF:PAL ON:SECAM

DIP-SW6 Video Format 設定

ビデオ信号形式を入力します。

OFF:NTSC ON:PAL



DIP-SW5,6 で SECAM モードにしたときは、SECAM のアナログ信号を
PAL の DV 信号としてキャプチャします。このときのアナログビデオ出
力の色は保証されません。また、それによってキャプチャした DV 信号
を出力してアナログ信号に変換した場合も PAL のアナログビデオ信号と
して出力されます。

仕様

ビデオ信号方式		NTSC/PAL ※ 入力のみ SECAM 対応。その際の出力は PAL になります。 ※ 16:9 の画面モードには対応していません。
DV	前面端子	4-pin iLINKコネクタ
	背面端子	6-pin iLINKコネクタ
	ビデオデータフォーマット	DV (SD 525-60 / SD 625-50)
	オーディオデータフォーマット	48kHz 16bit 2ch 32kHz 12bit 2ch (データフォーマットは4chですが、入力できるのはメインの2chのみで、サブの2chには無音が入ります。また、出力時はメインの2chのみの出力か、メイン50%+サブ50%のミックス出力の選択が可能です。)
アナログビデオ	入力端子(前面)	ミニDIN 4ピン(S-Video)×1 RCAピンジャック(コンポジット)×1
	出力端子(背面)	ミニDIN 4ピン(S-Video)×1 RCAピンジャック(コンポジット)×1
アナログオーディオ	入力端子(前面)	ピンジャック×2(ステレオ1系統)
	出力端子(背面)	ピンジャック×2(ステレオ1系統)
電 源	DVケーブル (IEEE1394ケーブル) 6pin より電源供給もしくは専用ACアダプタにより電源供給	
消費電力	最大4.5W	
外形サイズ(突起部を含まず)	146(W) × 27.2(H) × 120(D)mm	
重 量	250g	

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理をご依頼になる前に、以下の点をご確認ください。

症状	原因/対策
映像・音声が出力されない。	→ 本製品とDV、アナログビデオを接続するケーブルが正しく接続されているか確認します。なお、本製品のモード設定が適切かを確認します。
録画できない。	→ 入力された映像・音声データに著作権保護の信号が含まれている場合、正常に録画することはできません。
入力モードの切替えができない。	→ INPUT SELECTスイッチを押してしばらくは、ANALOG IN、DIGITAL INのLEDが同時に点灯します。この間は入力モードの切替えを受け付けていません。
カラーバーが表示されない。	→ INPUT SELECTスイッチは、続けて3秒以上押してください。
3つのLEDが点灯しつづける。	→ アプリケーションをご使用の場合には、一旦終了し、PCを再起動してください。 DVケーブルを接続している場合には、DVケーブルを取り外してください。 それでも症状が改善されない場合には、電源のON/OFFを行ってください。

以上をご確認いただいても正常に動作しない場合は、以下の当社サポート窓口までお問い合わせください。(保証規定については保証書をご覧ください)

修理のご依頼や操作方法など使いかたのお問い合わせは

テクニカルサポート Tel. 078-992-9940

※ 当社が販売を行っていない製品にバンドルされている編集ソフトウェアなどのお問い合わせはお受けできません。

修理状況のご確認や保守部品のお問い合わせは

カスタマーサポート Tel. 078-992-5846

※ 塗装のはがれ、傷、コネクタ類の破損は無償保証の範囲外となります。

修理をご依頼される際は、以下の情報をご連絡ください。

●製品名 ●シリアル番号 ●ご氏名 ●ユーザーID

●ご住所 ●電話・FAX番号 ●不具合の具体的な内容

製品の最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

Canopus ホームページ <http://www.canopus.co.jp>



カノーピス株式会社
本社／〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2

※本書は、再生紙を使用しています。

F095807165